

「第 17 回呼吸療法セミナーin 湘南 2017」経過報告書

第 17 回呼吸療法セミナーin 湘南

大会長 渡部和巨（米国呼吸療法学会国際部会日本責任者、東京西徳洲会病院 院長）

日時：第 1 日目 2017 年 7 月 15 日（土）

第 2 日目 2017 年 7 月 16 日（日）

場所：湘南藤沢徳洲会病院

主催：日本医工学治療学会呼吸器分科会

後援：財団法人 日米医学医療交流財団

特定非営利活動法人 日本呼吸ケアネットワーク

呼吸療法認定士 60 名限定のアドバンスト・コースを米国の最前線で指導している Lonny

Ashworth

教授を招聘して、短期間ではありますが、米国の呼吸療法士が受けている実践的教育を受け

てもらい

認定士の質向上が図られればと、始めたこのセミナーも今回で 17 回目です。

応募は年明けから始まりほぼ1ヶ月で定員となり、会は粛々と進み、さり気なく終了すると  
言った感じです。

参加者のレベルも高く総合評価で高得点が目白押しで皆鬨ぎ合っています。

この会は2006年からNational Board for Respiratory Care (NBRC)に認定されています。

(添付別紙ご参照下さい)

1、日本でも呼吸ケアチーム加算が付き、看護協会認定 慢性呼吸器疾患看が認定看護師の  
一つに加わり、2013年の1月に行われた慢性呼吸器疾患認定審査を経て60名弱の認定  
看護師が誕生し、毎年約60名ずつ増えています。

2、関係医学会6学会【日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会、日本呼吸療  
法医学会、日本集中治療医学会、日本生体医工学会】が後援し、「呼吸療法専門臨床工学  
技士認定制度」が2012年にスタートしました。

少しずつではありますが、米国の呼吸療法士のようなしっかりしたものに近づいて行ければ  
と思っています。

三学会合同呼吸療法認定士は1996年に始まり2017年9月の時点で**43,463人**の合格者が  
います。

### 3、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会は新しい制度として呼吸ケア指導士制度という

資格を医師、歯科医師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士・管理栄養士、薬剤師、放射線技師、言語聴覚士、臨床工学士、臨床検査技師、介護福祉士、その他の呼吸ケア領域で専門職種として活動できる立場の人を対象に導入。初級・中級・上級コースを設けてスキルアップをはかれるようにしています。

さて、この度、日本医工学治療学会 呼吸器分科会会長を辞退させて頂き、2001年から17年間続いた呼吸療法セミナーin 湘南 を 7/15,16/2017 土、日を持って終了する事となりました。私は 2001年 当時、久留米の古賀病院院長の古賀俊彦先生から、ご自分が1989年から始められた呼吸療法セミナーを引き継いでほしいと言われ 僭越ながら 呼吸療法セミナーin 湘南という形で参加者数、参加者資格限定のセミナーを 2001年から毎年行って参りました。又、古賀先生が2004年、広島での第20回頼岡徳在先生会長の大会の最中に他界された後、第21回の秋葉隆先生（東京女子医科大学）の回から、関東での開催の際には私が それ以外の場所での開催の際にはその時の会長に適任者をご推挙頂き呼吸療法セミナーを開催して頂いておりました。これまで、古賀俊彦先生が米国の AARC（American Association for Respiratory Care）との関係を大切に築き上げて来られたの

を引き継いで参りましたが、この度、一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学  
会と AARC が提携を結んだ事、セミナー講師として古賀先生と 1995 年以来 交流のある  
Boise 大学教授の Lonny Ashworth 先生も毎年夏と冬に日本の十数カ所で指導に当たられ  
るようになった事などから、渡部の役割はいい形で次の方に引き継がれたと考えています。  
対外的には日本の多くの組織を横断的・包括的にまとめた組織すなわち日本呼吸療法学会  
が、出来ることを願っています。